

その他の土木工事業におけるその他の仮設物、建築物、構築物等を起因物とする死傷災害発生事例

(2017年)

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|---|----|-------|
| 1 | 14~15 | 事務所の屋根のハフに付いた氷を取るため、高さ1m80cmの脚立を置き、1m40cm位の所で作業をしていたところ、体のバランスを崩し脚立からコンクリートの地面に飛び降りた。その際、両足の裏の部位を地面に打ち負傷した。 | 71 | 10~29 |
| 1 | 11~12 | 大型ベンチフリュームの底にて作業を行うため下に降りようとした際、足を置く所の目測を誤り、バランスを崩して転倒し、大型ベンチフリュームの淵に股間にぶつけて被災した。 | 44 | 30~49 |
| 1 | 14~15 | 工事現場で、掘削部分の錆落復旧の写真を写すため降車場に車を止め、車から降りた時に車止に躓き、転倒し尻もちをついた際に負傷した。 | 78 | 1~9 |
| 1 | 10~11 | 資材置場にて、重機で整地作業後の箇所を歩いていたところ、地盤がゆるく下に空洞があり石と共に60cmほど滑落し、左足に石が落下し負傷した。 | 35 | 10~29 |
| 2 | 11~12 | 物置外壁の合板を胴縁にビス固定中、足場になっていた擁壁から落下した。擁壁天端の角に、肋骨をぶつけた。(原因) 何らかの落下防止策をしていなかった。 | 58 | 1~9 |
| 3 | 14~15 | 建物内でボイラー修理作業中、地下のボイラー室へ入った際に入口の鉄製扉が倒れてきた為、止めようとして右手親指を挟まれ負傷した。 | 19 | 1~9 |
| | 13~ | 解体工事作業中、場内の分別と片付けをしているときに、高さ11.4メートルの養生 | | 50 |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|---------|
| 4 | 14 | 足場が突風にあおられ、作業員側に倒れてきて、足場のパイプに股関節を挟まれ、基礎部分（コンクリート）が残っていた個所に腰を強打した。 | 66 | ～ 99 |
| 4 | 13～ 14 | 当社資材置き場内駐車場で改良土移動作業終了し、通勤用自家用車で帰宅する際に自家用車から降り、急いで駐車場ゲートを開けようとした時、石につまずき勢い良く駐車場ゲートに突っ込み、ゲートに挟まれて左手小指、人差し指を損傷した。 | 21 | ～ 9 |
| 5 | 17～ 18 | 現場で堤防の確認中に、ブロックの上から転落した。 | 57 | ～ 29 |
| 7 | 15～16 | 工事現場にて、間知ブロック1個を積工し易いように単独で並べる作業中、慌てていたため誤って隣の同ブロックとの間に左示指・中指を挟んでしまい負傷したもの。 | 33 | ～ 9 |
| 7 | 14～ 15 | 駐車場の塗装工事中、直径80cm程の土が入った植木鉢を二人で移動中、高さ30cm程度の段差があり、後ろ向きに進んでいた被災者が、そのまま行けるだろうと思い段差を降りた際、左膝を捻ってしまった。 | 56 | ～ 9 |
| 9 | 11～ 12 | 庭園にて、維持管理作業中、斜面を移動していた際に足を滑らせ、右手を斜面についたところ、手首を骨折した。（前日の雨で地面がぬかるんでいた） | 70 | ～ 9 |
| 11 | 19～ 20 | 会社前の土場で、ユニック車に左側の足場板を掛ける時、夜で周りは暗く、足場板が掛かっていることを確かめずに、掛かっているものと思い、手を離してしまった。足場板がそのまま落下し、左足を直撃し、損傷した。 | 21 | ～ 49 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html